

1,神聖ローマ帝国とイタリア

┌神聖ローマ帝国の歴代皇帝→()1政策に没頭・国内統一をおろそかに

└シュタウフェン朝(1138~1208, 1215~54)断絶→皇帝のいない**大空位時代**(1256~73)

1356年 ボヘミア出身の皇帝**カール4世**(位1347~78)❖a→()2勅書❖b

❖a--プラハ生まれ。ボヘミア王カレル1世。大学設置等プラハを帝国の首都として整備。文人皇帝。

❖b---マインツ・ケルン・トリエアの**大司教**と**ベーメン王**・**ファルツ伯**・**ザクセン公**・**ブランデンブルク辺境伯**7人の()3候が皇帝を選挙する制度。()4の認可を要しない。

帝国の内部---**領邦**とよばれる諸侯領や**自由都市**など、300の地方権力が分立

15世紀 代々の皇帝はオーストリアの()5家❖cから選出

❖c---スイス発祥。1273年**ハプスブルグ伯**ルドルフがドイツ王ルドルフ1世(位1273~1291)に即位。

1278年ボヘミア王オタカル2世を破り()6を領土とする。

スイス---11世紀神聖ローマ帝国領。のち**ハプスブルク家**の所領。

13世紀末 ルドルフの子**アルブレヒト1世**(位1298~1308)の時、独立運動

1291年 ウーリ、()7、**ウンターヴァルデン**3州→「**原初同盟**」(~1523)結成。

1315・1386年 スイス農民軍→ハプスブルク軍を撃退⇒事実上の独立を達成=「**8州同盟**」

16世紀 13自治州による**連邦共和国**成立。

イタリア

12世紀~イタリア内部では**教皇派**(**ゲルフ**)と**皇帝派**(**ギベリン**)の党派争い→国家統一に向かわず

南イタリア

シュタウフェン朝の神聖ローマ皇帝()8 1世(位1152~90)→イタリア遠征

ハインリッヒ6世(位1190~97)→婚姻・征服→両()9王国(1131~1282)の国王を兼任

フリードリヒ=()10 2世 (位1212~50)❖d イスラム文化を愛好

┌シチリア→ノルマン・イスラム・ビザンツの3文化が共存

└イスラム、正教会にたいする宗教的寛容→ローマ教皇の()11要請を拒む

└教皇から「反()12」として破門 →「王座の最初の近代人」と言われる

❖d---イタリア生まれ。母はシチリア王女。パレルモに居住。中世西欧で最も進歩的な君主とされる。

1228年 **第六回十字軍**を指揮

→()13朝のスルタン**アル・カミール**(1180~1238)との交渉(アラビア語書簡による)

┌10年間の()14

└**イエルサレム**の統治権を回復・**岩のドーム**は()15が管理

1245年 教皇**インノケンティウス4世**はフリードリヒを「イスラムの友人、異端」とし破門

ナポリ・()16朝(1266~1435)=フランス系---アンジュー・シチリア家の支配

1266年 教皇の要請で仏王の弟**アンジュー伯**が南イタリアを征服、**シャルル1世**(位1266~85)即位。

1282年 東ローマ侵攻の準備中に反乱=「シチリアの()17=**夕べの祈り**」❖e

→()18王国の**ペドロ3世**(1239~1285)がシチリア上陸、王位に就く。

→**シチリア王国**(アラゴン系)と**ナポリ王国**(アンジュー朝)に分裂

❖e---復活祭の翌3月30日アンジュー家の圧制への反乱が起こり、シチリア全土に拡大。

フランス王権→イタリア半島へ介入→神聖ローマ皇帝との間で()19戦争(1521~1544)

→**ヴァロワ家**(仏)と**ハプスブルグ家**(神聖ローマ皇帝)のイタリアを巡る争い

北イタリア---都市共和国が分立 →商業活動による**繁栄**→**ルネサンス文化**

・**ヴェネツィア**(697~1797)--「()20**海の女王**」ビザンツ帝国から事実上独立。アドリア海の商業権を得て

11世紀からアジアとの交易で繁栄。アドリア海一帯と**クレタ**を領有。()21=

元首と**大評議会**(480人)による政治。

・**ジェノヴァ**(1096~1797)---**東方交易**(絹、香辛料など)で繁栄。[]22帝国から**サモス**、**キプロス**等を授かる。

11世紀に()23と連合し**イスラム勢力**と戦い**西地中海**の**制海権**を得る。

・**フィレンツェ**(1115~1532)---共和制だが事実上[]24家が支配。遠隔地交易、毛織物業、金融業で繁栄。15世紀

ルネッサンスの中心。1406年**ピサ**を獲得。

2,ロシアと北欧諸国

モンゴルの**キプチャク=ハン国**(~1502)→**キエフ公**など諸侯はこれに**隷属**=「**タタールのくびき**」

15世紀 []25→**ヴォルガ川**支流の**要衝**、商業の中心として**発達**

モスクワ大公国(1263~1547)→**ノブゴロド**などロシアの中心部を統一

1480年 **モスクワ大公**()26 3世(位1462~1505)→**キプチャク=ハン国**から自立

┌1467年**ビザンツ帝国**最後の皇帝の**姪**と結婚→()27(**カエサル=皇帝**)を称する

└**古代ローマ**・**ビザンツ**につぐ「**第三のローマ**」を自認 正教の中心→**ロシア正教**

1547年 **イヴァン4世**(位1533~84)=**雷帝** 農奴制強化し、貴族を抑えて**ツァーリ体制**確立

北欧3王国---**デンマーク**・**ノルウェー**・**スウェーデン**→()28**同盟**(1397~1523)

1376年 先王の死後**デンマーク王女**()29 (**摂政**位1387~1412)=**ノルウェー王****ホーコン**6世の後

息子**オーロフ**(5歳)が**デンマーク国王****オーロフ**3世(位1376~1387)として即位→後に**ノルウェー王位**も継承

1396年 **スウェーデン王**を廃し**デンマーク王****エーリク**7世(位1396~1439)が**三国**の王に

1397年 **スウェーデン南境**の**カルマル**で**戴冠式**→**カルマル同盟**(同君連合)

→┌**ドイツ北部**を中心とする()30**同盟**に対抗

└**デンマーク**による**スウェーデン**支配

1523年 **スウェーデン**独立 →**デンマーク**・**ノルウェー**の同君連合は1814年まで存続



フリードリッヒ (フェデリーコ)2世



フリードリッヒ2世とアル・カミール



ヴェネツィアの金貨



ヴェネツィアの領土



ジェノヴァ



フィレンツェのドゥオーモ



ヴェネツィアのサンマルコ大聖堂

- ・選帝 ・金印 ・教皇 ・休戦 ・晩鐘 ・ピサ ・ハンザ ・十字軍 ・イヴァン ・キリスト ・アラゴン
- ・イタリア(2) ・シチリア ・カルマル ・ムスリム・アドリア ・アンジュー ・ドージェ ・ツァーリ
- ・アイユーブ ・マルグレーテ ・シュヴィーツ ・ハプスブルク ・オーストリア ・フリードリヒ ・フェデリーコ